

# 「好奇心」と「肌の弾力」は互いに高め合う

## 細胞生物学と認知・脳科学の研究を融合し、新たなケアの可能性

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)は、分野の異なる2つの研究成果を組み合わせ、「好奇心」と「肌の弾力」が互いに高め合う関係にあることを解明しました。これにより、これまでにない肌弾力の改善アプローチや、それに伴う好奇心の高まりといった新たなケアの可能性が広がります。

この知見は、今後、ポーラ・オルビスグループの商品やサービスに活用される予定です。

### 好奇心と肌の相互サイクルを発見

細胞生物学的研究から「好奇心が高まると肌の弾力が高まること」を発見し、認知・脳科学的研究からは「弾力の高まった肌に触ると好奇心が高まること」を発見しました。これにより、好奇心と肌が互いに高め合うサイクルが働いているといえます(図1)。

好奇心のような脳活動と肌の相互サイクルの発見は、これまでにない全く新しい知見です。今後、好奇心や弾力以外の関係にも視野を広げ解明していくことで、様々なアプローチが可能になると期待できます。

### 広がる選択肢

今回の発見から、肌の弾力を高める化粧品により、肌と好奇心の両方を相乗的に高めることができると期待できます。また、五感を通じた好奇心を刺激するアクティビティと化粧品との組み合わせにより、より効果的な肌ケアが可能となります。

ポーラ化成工業は既存の化粧品の枠を超えた研究を突き進めています。今回の研究により、「美しい肌だけでなく、美しい人生までも実現」できると考えています。

### 相互サイクルの発見につながった2つの研究

#### 研究① 細胞生物学的研究: 好奇心に関連する神経伝達物質に「肌弾力」を高める働きを発見

関連リリース: 「好奇心に伴う神経伝達物質がいきいきとした弾力肌をつくる」(2019年7月31日発行)

「気持ちの変化」が、神経伝達物質を介して肌状態に影響を与えていることを解明した研究です。これにより、化粧品による神経伝達物質へのアプローチはもちろんのこと、五感を通じた好奇心を刺激するアクティビティなどが新たな肌ケアになり得ると考えられます。ポーラ化成工業では、全ての人に美しく彩りのある人生を提供するために、研究対象を「肌」から「ヒト全体」に拡大しています。

#### 研究② 認知・脳科学的研究: 「肌の弾力」が「好奇心」に影響を与えることを実証

関連リリース: 「押し返しの強い弾力肌に触れると好奇心が高まる」(2019年7月31日発行)

「肌の触り心地」に着目し、fMRIによる脳活動部位の検証を取り入れた研究です。ポーラ化成では以前より「触り心地」と気持ちの関係性を研究しています。既に、化粧品の触り心地の違いから、気持ちに変化を生むスキンケア製品の感触設計を実現するなど、化粧品の可能性を広げてきました。今後は、この知見を活用して、肌の可能性を広げていくことができると期待されます。

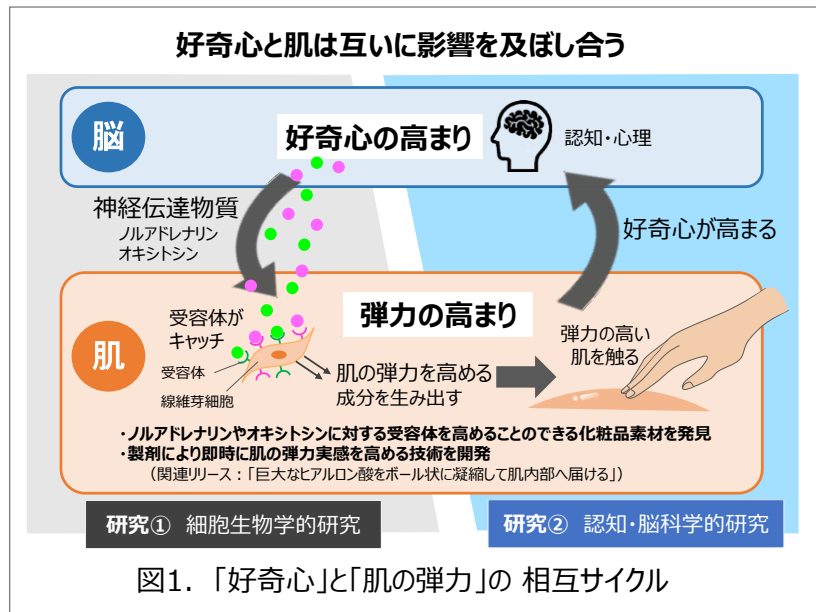


図1. 「好奇心」と「肌の弾力」の相互サイクル